

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	岐阜県、郡上市	地域再生計画名	みんなで考え、みんなでつくるまちづくり計画
計画期間	令和2年度～令和7年度	評価責任者	郡上市 建設部長 小酒井章義		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	年間宿泊客数の増加	45万人	R1	51万人	R4	39万人	56万人		R7	×		指標総数
	指標2	農業産出額の増加	51億円	R1	52億円	R4	58億円	53億円	R7	○	3	1	令和2年度から令和4年度までの3か年に、農業機械9台、農業用ハウス整備4箇所補助金を交付し、儲かる農業の実現を目指したことにより、農業産出額が大幅に増加となり目標を達成した。
	指標3	年間素材生産量の増加	111,000m3	R1	130,000m3	R4	109,560m3	150,000m3	R7	×			令和4年度の素材生産量は、目標値よりも下回った。しかし、R2は114,000m3、R3は117,000m3であり素材生産量は増加している。また、R5に木質バイオマス発電施設の稼働により用材の集荷が開始されることから、C・D材の生産増加が見込まれる。
②事業の進捗状況		事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（H・R）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2,740	1,168	3,100	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は37%である。昨年度、地域再生計画変更を行い整備計画の見直しを行った。今後も引き続き、計画に則した整備を目指す。								
	農道整備事業（整備延長）	5,950	1,946	3,346	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は58%である。昨年度、地域再生計画変更を行い整備計画の見直しを行った。今後も引き続き、計画に則した整備を目指す。								
	林道整備事業（整備延長）	6,600	4,331	10,415	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は41%である。昨年度、地域再生計画変更を行い整備計画の見直しを行った。今後も引き続き、計画に則した整備を目指す。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金事業	市道改良や舗装修繕を実施し、幹線道路網や市民生活を支える道路整備を促進			令和2年度から令和4年度に、23路線、延長4.5kmの整備を実施。今後も計画的に整備を行う。								
	元気な農業産地構造改革支援事業	産地基盤強化や市場ニーズを見据え、流通・販売、担い手育成、基幹的共同利用施設整備を支援し、儲かる農業の実現を目指す			令和2年度から令和4年度までの3か年に、農業機械9台、農業用ハウス整備4箇所補助金を交付し、儲かる農業の実現を目指した。今後も同様の支援を計画的に行う。								
	造林推進事業	木材増産のため、森林整備（植栽・保育・間伐等）・作業路開設で国県の補助対象となった事業に対して嵩上げ補助を実施			令和2年度から令和4年度までの3か年に、約2,750haの森林整備、約58,230mの作業道開設に対し補助金を交付し、森林整備の推進を図った。今後も継続的に支援を実施する。								
	観光振興事業	交流人口及び宿泊客の増加を目指し宿泊環境の充実、国内外に向けたPR活動を実施			令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間宿泊客数は減少した（R2:31万人、R3:25万人、R4:39万人）。令和5年度以降は、DMO登録法人である郡上市観光連盟の組織強化や周遊・滞在型観光の推進、外国人観光客の誘致など魅力ある観光資源を活かしたPR活動を実施する。								
③評価方法	地方創生推進会議を開催し、事業の進捗状況報告及び中間目標値の実現状況に関する評価等を行った。												
④中間評価の公表方法	郡上市のホームページにて公表												
⑤計画全体の総合評価	<p>本地域再生計画では、地方創生道整備交付金を活用し、市内の観光施設につながる市道整備、主要幹線を結ぶ広域農道の開設及び森林資源活用のための林道開設等を一体的に整備し、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築するとともに、市内の地域間連携を強化するを目的としている。</p> <p>指標1の年間宿泊客数の増加は、新型コロナウイルス感染症の影響により年間宿泊客数は減少したが、令和4年度からは回復傾向であり、令和5年度以降から実施するPR活動等により、最終年度には目標を達成する見込みである。指標2の農業産出額の増加は、儲かる農業の実現を目指すための施策の実施により目標を達成した。指標3の年間素材生産量の増加は、令和4年度は目標値を下回った。現在造林推進事業による補助金交付対象となる森林整備面積は増加傾向であるとともに、今年度木質バイオマス発電施設の稼働により用材の集荷が開始されることから、素材生産量は増加する見込みである。</p>												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・ <b>無</b> ） 令和6年度予算要望額への反映（有・ <b>無</b> ） 有りの場合の増減額 千円					昨年度、地域再生計画変更を行い整備計画の見直しを行った。今後も引き続き、計画に則した整備を目指す。							
⑦今後の方針等に対する対応	今後も、毎年度の整備計画値と整備実績値の確認を行いながら、整備進捗を図る。												